特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人

前田 弘

様

あて名

〒541-0053

日本国大阪府大阪市中央区本町2丁目5番7号 大 阪丸紅ビル FCD 23 JUN 2005 PCT 国際調査機関の見解告 (法施行規則第 40 条の 2) (PCT規則 43 の 2. 1)

発送日 (日.月.年) 21.06.2005

今後の手続きについては、下配2を参照すること。

出願人又は代理人

の書類記号

D05-Q-067CT1

国際出願番号

PCT/JP2005/004085

国際出願日

(日.月.年) 09.03.2005

優先日

(日.月.年) 18.03.2004

国際特許分類(IPC)IntCl⁷F25B11/02

出願人(氏名又は名称)

ダイキン工業株式会社

- 1. この見解書は次の内容を含む。
 - ▼ 第1欄 見解の基礎
 - 厂 第Ⅱ概 優先権
 - 「 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
 - 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如
 - ▽ 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、
 それを裏付けるための文献及び説明
 - 「 第VI欄 ある種の引用文献
 - 「 第VII 国際出願の不備
 - 「第W欄 国際出願に対する意見
- 2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解者が上配のように国際予備審査機関の見解費とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正費とともに、答弁費を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

03.06.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

3M | 7

1 7616

清水 富夫

電話番号 03-3581-1101 内線 3377

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

——————————————————————————————————————	A DATE OF THE PARTY.	一	四际山积地方	PC1/JP2005/00	34085
第1個 見解の基礎					
1. この見解寄は、下	記に示す	場合を除くほか、国際出願の言語を基	らして作成さ	れた。	
「 この見解掛は、 それは国際関係	- Eのため	語による翻訳文を基礎と に提出されたPCT規則12.3及び23.1	: して作成した。 (b)にいう翻訳ゞ	この言語である。	
2. この国際出願で開 以下に基づき見解		一つ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌ した。	ソクレオチド又は	アミノ酸配列に関して、	
a. タイプ	Г	配列表			
1		配列表に関連するテーブル			
b. フォーマット	Г	告面			
	Γ	コンピュータ読み取り可能な形式			
c. 提出時期	Γ	出願時の国際出願に含まれる			
	Г	この国際出願と共にコンピュータ読	み取り可能な形式	により提出された	
	Γ.	出願後に、調査のために、この国際語	調査機関に提出す	\$れた	
		列表に関連するテーブルを提出したな した配列と同一である旨、又は、出廊			
4. 補足意見:			• •		
· macas yu ·				•	,
	•				
		•		·	••
		•			

第	第V概 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則 43 の 2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明					
1.	見解					
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-3	有 無		
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-3	有 無		
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-3	有 無		

2. 文献及び説明

請求の範囲1

文献2[JP 11-294876 A(株式会社豊田自動織機製作所)1999. 10.29,第2欄第6行-第3欄第36行 & US 6105380 A & EP 0952412 A2]、又は、文献3[JP 11-211250 A(株式会社デンソー)1999.08.06,第7欄第15-39行,第8欄第39-47行 & US 6134900 A & EP 0931991 A2]から、臨界圧力以上となる冷凍サイクルにおいて、低圧圧力と放熱器の出口における冷媒温度を基準として冷凍サイクルの成績係数が最高となる制御を行うことは自明であり、該制御を文献1[JP 2003-172244 A(ダイキン工業株式会社)2003.06.20,第5欄第28行-第9欄第29行(ファミリーなし)]に記載された冷凍装置に用いたことは当業者にとって容易である。

又、計算式の事項は、定常運転時において必然的な作動であるから、設計上の事項 にすぎない。

請求の範囲2

文献3に記載されたアキュームレータ5、又は、文献5 [JP 2000-234814 A (アイシン精機株式会社) 2000.08.29 (ファミリーなし)] に記載されたアキュームレータ26を付加したことは当業者にとって容易である。

請求の範囲3

文献3に記載された中間熱交換器11、又は、文献4[JP 2002-022298 A(松下電器産業株式会社)2002.01.23,第4欄第24-35行(ファミリーなし)]に記載されたサイクル内熱交換器15を付加したことは当業者にとって容易である。

10/593, 038

PATENT COOPERATION TREATY

From the INTERNATIONAL SEARCHING AUTHOR	. Trv		RANS
To:			PCT PCT
			TITTEN OPINION OF THE ONAL SEARCHING AUTHORITY
			(PCT Rule 43bis.1)
		Date of mailing (day/month/year)	
Applicant's or agent's file reference		FOR FURTHER A	ACTION
D05-Q-067CT1			See paragraph 2 below
International application No. PCT/JP2005/004085	International filing date 09.03.2005	(day/month/year)	Priority date (day/month/year) 18.03.2004
International Patent Classification (IPC) or bot	h national classification an	nd IPC	
Applicant DAIKIN INDUSTRIES, L	TD,		
This series are all all assessments	sing to the following item		
This opinion contains indications relations		S:	
Box No. 1 Basis of the	opinion		
Box No. II Priority			
Box No. III Non-establ Box No. IV Lack of uni Box No. V Reasoned s	ishment of opinion with re	gard to novelty, inventi	ve step and industrial applicability
Box No. IV Lack of uni	ty of invention		
Box No. V Reasoned s applicabilit	tatement under Rule 43bis y; citations and explanatio		rovelty, inventive step or industrial ement
Box No. VI Certain doc	cuments cited		
Box No. VII Certain def	ects in the international ap	plication	
Box No. VIII Certain obs	ervations on the internation	onal application .	
2. FURTHER ACTION			
If a demand for international preli International Preliminary Examining	Authority ("IPEA") except chosen IPEA has notified	pt that this does not app d the International Bure	I be considered to be a written opinion of the oly where the applicant chooses an Authority other eau under Rule 66.1 bis(b) that written opinions of
written reply together, where appro PCT/ISA/220 or before the expiratio	priate, with amendments, n of 22 months from the p	, before the expiration	a, the applicant is invited to submit to the IPEA a of 3 months from the date of mailing of Form expires later.
For further options, see Form PCT/IS 3. For further details, see notes to Form			
Name and mailing address of the ISA/JP		Authorized officer	
Trans and maining addition of the 1979JF		, adjoined officer	
Faccimile No.		Telephone No	

Form PCT/ISA/237 (cover sheet) (January 2004)

WRITTEN OPINION OF THE INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.
PCT/JP2005/004085

Box	No. I	Basis of this opinion
1.		regard to the language, this opinion has been established on the basis of the international application in the language in which it was unless otherwise indicated under this item.
		This opinion has been established on the basis of a translation from the original language into the following language, which is the language of a translation furnished for the purposes of international search (under
	-	Rule 12.3 and 23.1(b)).
2 .		regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application and necessary to the claimed ation, this opinion has been established on the basis of:
	a.	type of material
		a sequence listing
		table(s) related to the sequence listing
	ь. b.	format of material
		in written format
		in computer readable form
	c.	time of filing/furnishing
		contained in the international application as filed.
		filed together with the international application in computer readable form.
		furnished subsequently to this Authority for the purposes of search.
3.		In addition, in the case that more than one version or copy of a sequence listing and/or table(s) relating thereto has been filed or furnished, the required statements that the information in the subsequent or additional copies is identical to that in the application as filed or does not go beyond the application as filed, as appropriate, were furnished.
4.	Addi	tional comments:

WRITTEN OPINION OF THE INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.
PCT/JP2005/004085

Вох			ale 43bis.1(a)(i) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability;	
1.	Statement Statement	auvii5 3U	por mag out a statement	
	Novelty (N)	Claims	1-3	YES
		Claims		NO
	1 2 2 20			
	Inventive step (IS)	Claims	1 0	YES
		Claims	1-3	NO
	Industrial applicability (IA)	Claims	1-3	YES
		Claims		NO
	Citations and explanations:		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	(29.10.99), column 2, lindocument 3 [JP, 11-2112 column 8, lines 39-47 & exceed the critical pressing the refrigeration cycle be outlet of the radiator as a control for the refrigerate Ltd.), 20 June, 2003 (20 And the matter of the canothing more than a material Claim 2 It is easy for a person sk accumulator 26 describe 2000 (29.08.00) (Family Claim 3 It is easy for a person sk document 3 or the in-cycle.)	ne 6 – co 250, A (I US, 613 ure, obvidences to the refered ing devidences (06.03), a local tion there of devidence of devices (10.00).	the art to add the accumulator 5 described in document 3 or the aument 5 [JP, 2000-234814, A (Aisin Seiki Co., Ltd.), 29 August,	of ne es us

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人 前田 弘 あて名 〒541-0053 日本国大阪府大阪市中央区本町 2 ⁻ 阪丸紅ビル	様 丁 目5番7号 大	PCT PCT 国際調査機関の見解告 (法施行規則第40条の2) [PCT規則 43 の 2.1]		
		発送日 (日.月.年)	21. 06.2005	
出願人又は代理人 の 書類記 号 D05-Q-067CT1	•	今後の手続	きについては、下記2を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2005/004085	国際出願日 (日.月.年) 09.03	3. 2005	優先日 (日.月.年) 18.03.2004	
国際特許分類(IPC)Int.CL ⁷ F25	B 1 1 / 0 2			
出願人 (氏名又は名称) ダイキン工業株式会社				

1. この見解書は次の内容を含む。

▼ 第1欄 見解の基礎

第Ⅱ欄 優先権

「 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

第IV欄 発明の単一性の欠如

▼ 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明

第VI概 ある種の引用文献

「 第VI柳 国際出願の不備

厂 第W棚 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際関査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解音を国際予備審査機関の見解音とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解音とみなされる。

この見解告が上配のように国際予備審査機関の見解告とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解꽙を作成した日 03.06.2005			
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	3 M	7616
日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区微が関三丁目4番3号	荷水 富夫 電話番号 03-3581-1101 内相	············ 泉 33	7 7

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

	SIL MAINET IN	S DE V JC/M-19F	EDMINARY 101/ JF 2005/004085
第1欄 見解の基礎			
1. この見解寄は、下	記に示す	ナ場合を除くほか、国際出願の官語を基	5礎として作成された。
厂 この見解書は、		語による翻訳文を基礎と	・して作成した。
		 に提出されたPCT規則12.3及び23.1	
2. この国際出願で開 以下に基づき見解			スクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
a. タイプ	Г	配列表	
	Г	配列表に関連するテーブル	
•	•	品が私に関連すると	
•			•
b. フォーマット		告 面	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	_	- Val. 8 ' A Pite W. The in Targets do Tree-to-	
	Г	コンピュータ読み取り可能な形式	•
		•	•
c,提出時期	Г	出願時の国際出願に含まれる	
	Г	この国際出願と共にコンピュータ節	み取り可能な形式により提出された
	Γ.	出願後に、調査のために、この国際	調査機関に提出された
			•
3 ि केट्रेस्ट खा ला ल	多女性配	別字に関連するテーブルを掲出した#	場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し
			領時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
あった。	4 (C VEIT		140円から位える事文を日よない日の保証書の促出が
U) - 1.00			
			•
4. 補足意見:			
		·	•
,		•	
		•	
		•	
	•		
			A.*
•			
		•	•
			•
			••
			· ·

第	第V棡 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則 43 の 2.1(a)(i)に定める見解、 それを返付る文献及び説明						
1.	見解						
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-3	有 無			
•	進歩性(IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-3	有 無			
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-3	有			

2. 文献及び説明

請求の範囲1

文献2[JP 11-294876 A(株式会社豊田自動織機製作所)1999. 10.29,第2欄第6行-第3欄第36行 & US 6105380 A & EP 0952412 A2]、又は、文献3[JP 11-211250 A(株式会社デンソー)1999.08.06,第7欄第15-39行,第8欄第39-47行 & US 6134900 A & EP 0931991 A2]から、臨界圧力以上となる冷凍サイクルにおいて、低圧圧力と放熱器の出口における冷媒温度を基準として冷凍サイクルの成績係数が最高となる制御を行うことは自明であり、該制御を文献1[JP 2003-172244 A(ダイキン工業株式会社)2003.06.20,第5欄第28行-第9欄第29行(ファミリーなし)]に記載された冷凍装置に用いたことは当業者にとって容易である。

又、計算式の事項は、定常運転時において必然的な作動であるから、設計上の事項 にすぎない。

請求の範囲2

文献3に記載されたアキュームレータ5、又は、文献5 [JP 2000-234814 A (アイシン精機株式会社) 2000.08.29 (ファミリーなし)] に記載されたアキュームレータ26を付加したことは当業者にとって容易である。

請求の範囲3

文献3に記載された中間熱交換器11、又は、文献4 [JP 2002-022298 A(松下電器産業株式会社)2002.01.23,第4欄第24-35行(ファミリーなし)] に記載されたサイクル内熱交換器15を付加したことは当業者にとって容易である。